

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成27年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒
所在地

評価機関名

認証評価機関番号

機構 ー

電話番号

代表者氏名

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
福祉サービス種別	児童自立生活援助事業【自立援助ホーム】			
評価対象事業所名称				
事業所連絡先	〒			
	所在地			
	TEL			
事業所代表者氏名				
契約日	年	月	日	契約日を入力してください。
利用者調査票配付日(実施日)	年	月	日	利用者調査票配付日(実施日)を入力してください。
利用者調査結果報告日	年	月	日	利用者調査結果報告日を入力してください。
自己評価の調査票配付日	年	月	日	自己評価の調査票配付日を入力してください。
自己評価結果報告日	年	月	日	自己評価結果報告日を入力してください。
訪問調査日	年	月	日	訪問調査日を入力してください。
評価合議日	年	月	日	評価合議日を入力してください。
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)				

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- ☐ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定) 必ず入力してください
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1)職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) 必ず入力してください

調査対象

調査方法

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
		0
		0
0.0	0.0	0.0

利用者調査全体のコメント

場面観察方式の調査結果

調査の視点:「日常生活の場面で利用者が発するサイン(呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)とそれに対する職員のかかわり」及び「そのかかわりによる利用者の気持ちの変化」

評価機関としての調査結果

《調査時に観察したさまざまな場面の中で、調査の視点に基づいて評価機関が選定した場面》

有効回答数が3未満の場合は入力してください

《選定した場面から評価機関が読み取った利用者の気持ちの変化》

有効回答数が3未満の場合は入力してください

「評価機関としての調査結果」に対する事業者のコメント

有効回答数が3未満の場合は入力してください

--

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 食事の時間がくつろげるひとときになっているか				
2. 子どもの個別事情に応じて生活や規則内容等の説明を受けているか				
3. 職員を信頼して話せるか				
4. 就労に関する支援は役に立っているか				
5. ホーム内の清掃、整理整頓は行き届いているか				

6. 職員の接遇・態度は適切か				
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか				
8. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか				
9. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか				
10. 子どものプライバシーは守られているか				
11. 個別の計画作成時に、利用者の状況や要望を聞かれているか				
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか				

13. 自らの権利について、職員はわかりやすく教えてくれたか				
14. 子どもの不満や要望は対応されているか				
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ☐ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ☐ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる ☐ 非該当

	カテゴリー1の講評	カテゴリー1の講評を入力してください

2			カテゴリー2	
経営における社会的責任				
サブカテゴリー1(2-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		☐ 非該当	
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		☐ 非該当	
サブカテゴリー2(2-2)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人々に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		☐ 非該当	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		☐ 非該当	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		☐ 非該当	

	カテゴリー2の講評	カテゴリー2の講評を入力してください

3			カテゴリー3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用				
サブカテゴリー1(3-1)				
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる			☐ 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる			☐ 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している			☐ 非該当
カテゴリー3の講評			カテゴリー3の講評を入力してください	

4			カテゴリー4	
計画の策定と着実な実行				
サブカテゴリー1(4-1)				
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
○ あり ○ なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している			○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 年度単位の計画を策定している			○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる			○ 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
○ あり ○ なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている			○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている			○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している			○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している			○ 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
○ あり ○ なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している			○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている			○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している			○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで いる			○ 非該当

サブカテゴリ2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください
評点()		
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	☐ 非該当
カテゴリ4の講評		カテゴリ4の講評を入力してください

5			カテゴリー5	
職員と組織の能力向上				
サブカテゴリー1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる			☐ 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している			☐ 非該当
サブカテゴリー2(5-2)				
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる			☐ 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
		評点()	
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる		○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる		○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる		○ 非該当
カテゴリー5の講評		カテゴリー5の講評を入力してください	

7			カテゴリー7	
情報の保護・共有				
サブカテゴリー1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			☐ 非該当
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目			
☐ あり ☐ なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			☐ 非該当
カテゴリー7の講評			カテゴリー7の講評を入力してください	

8		カテゴリ-8	
カテゴリ-1～7に関する活動成果			
サブカテゴリ-1(8-1)			
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している			
評価項目1		標語を選択してください	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」		☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果		「改善の成果」を入力してください	
サブカテゴリ-2(8-2)			
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している			
評価項目1		標語を選択してください	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」		☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果		「改善の成果」を入力してください	
サブカテゴリ-3(8-3)			
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している			
評価項目1		標語を選択してください	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」		☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果		「改善の成果」を入力してください	

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

標語を選択してください

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「改善の成果」を入力してください

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

標語を選択してください

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「改善の成果」を入力してください

19/31

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		○ 非該当
○ あり ○ なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている		○ 非該当
○ あり ○ なし	4. サービスの終了時には、子どもの不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○ 非該当
サブカテゴリー2の講評		サブカテゴリー2の講評を入力してください	
サブカテゴリー3			
3	個別状況に応じた計画策定・記録 評価項目1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○ 非該当
○ あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○ 非該当

評価項目2 子どもの希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. 計画は、子どもの希望を尊重して作成、見直しをしている		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 計画を子どもにわかりやすく説明し、同意を得るようにしている		○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している		○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している		○ 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○ 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
○ あり ○ なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している		○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○ 非該当
サブカテゴリー3の講評		サブカテゴリー3の講評を入力してください	

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○ あり ○ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、本人の同意を得るようにしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入り等、日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている	○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○ あり ○ なし	1. 子どもの基本的人権について、日常生活の中でわかりやすく説明している	○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)	○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止を徹底している	○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○ 非該当
○ あり ○ なし	5. ホーム内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう、組織的に予防・再発防止を徹底している	○ 非該当
サブカテゴリー5の講評		サブカテゴリー5の講評を入力してください

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○ あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○ あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子どもからの意見や提案を反映するようにしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○ あり ○ なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○ 非該当
○ あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○ 非該当
○ あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○ 非該当
○ あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○ 非該当

	サブカテゴリ-6の講評	サブカテゴリ-6の講評を入力してください

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4	
サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
1 評価項目1 個別の支援計画に基づいて、自立した生活が営めるよう支援を行っている	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目
☐ あり ☐ なし	1. 個別の支援計画に基づいて支援を行っている ☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 子どもと信頼関係を構築できるよう、子ども一人ひとりに合った方法で接している ☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりの自立に向けて、関係機関(児童相談所、児童福祉施設、就労先等)と連携をとって、支援を行っている ☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 子ども一人ひとりの状況や意向に応じた退所後の支援を行っている ☐ 非該当
評価項目1の講評 評価項目1の講評を入力してください	
2 評価項目2 子どもの自立に向けて、継続して就労を行うことができるよう支援を行っている	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目
☐ あり ☐ なし	1. 子どもが自分にあった仕事につけるよう、就職活動における情報収集等必要な支援を行っている ☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 就労後も子どもが仕事を継続できるよう、相談に応じる等必要な支援を行っている ☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 継続した就労のために、子ども一人ひとりに応じた就労先との調整を行っている ☐ 非該当

	評価項目2の講評		評価項目2の講評を入力してください	
3	評価項目3 子どもの自立に向けて、さまざまな日常生活上の支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目		
	☐ あり ☐ なし	1. 子どものコミュニケーション力(人間関係構築力)が向上するよう支援を行っている	☐ 非該当	
	☐ あり ☐ なし	2. 基本的な生活習慣(起床時間、食事のマナー等)及び生活知識・技術(家事、社会生活上のルール等)を身につけられるよう支援を行っている	☐ 非該当	
	☐ あり ☐ なし	3. 収入の範囲内で生活できる経済観念が身につくよう、日常生活を通じて、金銭の管理や使い方について、支援を行っている	☐ 非該当	
	☐ あり ☐ なし	4. 資格取得・進学に向けた学習への支援など、子どもの目標達成のための支援を行っている	☐ 非該当	
	☐ あり ☐ なし	5. 子どもに、地域と日常的に関わりながら生活しているということの大切さを伝えている	☐ 非該当	
	☐ あり ☐ なし	6. 子どもの生活の幅が広がるよう、地域にどのような資源(地域の行事、公共のサービス等)があるのかを伝えている	☐ 非該当	
	評価項目3の講評		評価項目3の講評を入力してください	

4	評価項目4 子どもの自主性を尊重し、ホームでの生活が快適になるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
	評価点()			
	評価	標準項目		
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもの自主性を尊重し、意見を聞く機会を設けている		
	☐ あり ☐ なし	2. 居室や共有スペースは、快適で落ち着ける環境となるよう工夫している		
	☐ あり ☐ なし	3. 行事やイベントを通じて、子どもが生活の幅を広げることができるよう支援を行っている		
評価項目4の講評 評価項目4の講評を入力してください				
5	評価項目5 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
	評価点()			
	評価	標準項目		
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもの心身の健康状態に注意するとともに、心の悩みや不安の相談に応じている		
	☐ あり ☐ なし	2. 子どもが健康を自己管理できるように支援を行っている		
	☐ あり ☐ なし	3. 子どもの抱える問題に応じて、心理的ケアが必要な場合は、関係機関と連携をとって、支援を行っている		
	☐ あり ☐ なし	4. 子どもの急な体調変化時に、医療機関等と速やかに連絡がとれる体制を整えている		
	☐ あり ☐ なし	5. 性についての正しい知識と理解が得られるよう、子どもの状況に応じた説明を行っている		
	☐ あり ☐ なし	☐ 非該当		

	評価項目5の講評		評価項目5の講評を入力してください	
6	評価項目6 食事が子どもの安心や健康につながるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目		
	○ あり ○ なし	1. 食事時間は楽しく、安心感を得られるひとときになるよう工夫している		○ 非該当
	○ あり ○ なし	2. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている		○ 非該当
	○ あり ○ なし	3. 食事時間は子どもの希望や生活状況に応じて対応している		○ 非該当
	評価項目6の講評		評価項目6の講評を入力してください	
7	評価項目7 本人の意向を尊重しながら、家族との関わり方における支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目		
	○ あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの状況に応じて、家族とどう向き合っていくかの支援を行っている		○ 非該当
	○ あり ○ なし	2. 家族との関係調整(家族との距離感を保つことも含む)の際は、関係機関と情報交換・連携を行っている		○ 非該当
	○ あり ○ なし	3. 子どもから、保護者との面会、外出、一時帰宅等の希望があった場合は、状況を把握した上で、子どもの安全に注意しながら行っている		○ 非該当

	評価項目7の講評	評価項目7の講評を入力してください

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目		
タイトル①		
内容①		

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	
	内容	
2	タイトル	
	内容	
3	タイトル	
	内容	
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	
	内容	
2	タイトル	
	内容	
3	タイトル	
	内容	